

鱗翅目 (蛾類)

応対事項

被害概要は

どこで

いつ

どこを

症状、状態等は

周囲の環境

調査場所

虫の形態

主な発生時期

虫の習性等

原因虫

虫にさされた、かまれた、かゆい

室内、まれに外

外、まれに室内

夜間、まれに昼間

長間、まれに夜間

手、腕、首等体の露出部分をさされた

激しいかゆみ、発赤、丘疹
ひどい時には全身にじんましん症状

激しいかゆみ、皮膚炎

コナラ、ツツジ、サクラ、バラ、クヌギ等の植物に毛虫や食害がある蛾に触れた

茶、ツバキ、サザンカ、ヒワ等の植物に毛虫や食害がある蛾に触れた

桑、サクラ、モモ、フジ、ヤナギ等の植物に毛虫や食害がある蛾に触れた

蛾が飛来した室内、植物の葉に毛虫がいないか調査

成虫の体長は12～15mm翅の間隔30～40mm体翅は黄色、前翅の中央部に黒褐色のくの字型の雲状紋とその頂部に2個の黒点あり幼虫の体長は約40mm以内体は黒地に橙色の斑点あり

成虫の翅の間隔24～35mm、体翅は褐色～黄色、前翅の中央部に黒色斑点あり、オスには黒褐色のもいる幼虫の体長は約25mm以内体は暗褐色地に黒点と細い白色側線あり、頭部は橙黄色

成虫の体長は12～15mm、体翅は白色で光沢あり、前翅の後部2ヶ所に黒褐色の斑点あり幼虫の体長は約25mm以内体は橙黄褐色地に黒紋を有するものと、黒色地に黄条を有するものがあり



幼虫



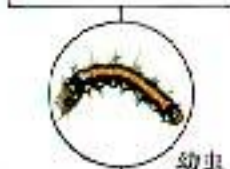
成虫



幼虫



成虫



幼虫



成虫

虫はささない、かまない

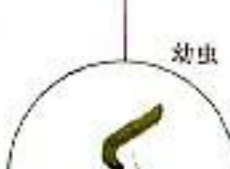
室内

食不快感

穀物(米、麦、豆)、惣粉(菓子類)、チョコレート等を食害されている

食害を及ぼしている所、食品を調査

成虫の体長は約8mm前翅長は13～17mm、前翅の外側半分は赤褐色で内側半分は灰褐色幼虫の体長は8～10mm体は乳白色、頭部は褐色



幼虫



成虫

年中

食品の食害、死骸混入の大部分の原因

ノシメマダラメイガ

蛾が夜間灯火に飛来して被害を及ぼすことが多い

ドクガ

毛虫に外で接触することが多い

チャドクガ

毛虫に外で接触することが多い

モンシロドクガ(クワノキゲンムシ)